

# 第一回キャンプファイヤー係会議

## ・キャンプファイヤー・キャンドルセレモニーの意義

みなさんは、火の美しさを知っていますか。キャンプファイヤーというのは、キャンプの総決算であるだけでなく、火の美しさをみんなで感じることができるプログラムです。普段家庭で見ることのできるガスコンロの青白い人は違って、暗い闇夜を大きく、赤々と照らしてくれる火を囲って友達と一つの時を過ごすことができる、とても楽しい時間です。キャンプファイヤーは思い出に残る、最も盛大なプログラムです。

また、キャンドルセレモニーは、キャンプファイヤーが雨でできなくなってしまった時のプログラムです。体育館で行います。キャンプファイヤーのような大きな火ではないけれども、ロウソクの炎はとても神秘的です。

キャンプファイヤー係は、キャンプファイヤーをみんなの心の中に、美しく、感動的な思い出として残せるように、努力しましょう。

## ・キャンプファイヤーの役割（キャンドルセレモニーでも、同じ）

営火長（ファイヤーチーフ）：教頭先生

- ・キャンプファイヤーの総責任者。
- ・時間の管理・火の管理・参加者の健康の管理。

営火係（ファイヤーキーパー）：名取先生・小見川少年の家の人

- ・キャンプファイヤーの火の準備
- ・火の管理

進行係（エールマスター）：[ ] [ ] 2名

- ・キャンプファイヤーの司会
- ・時間の管理（ゲームを増やしたりカットしたり）
- ・スタンツ、ゲームの呼び出し

呼び出しは、ゲーム的に呼び出したり、みんなで歌いながら呼び出したり、いろいろ工夫するとよい。また、スタンツの後に感想を求めたり、司会者自身が簡単な感想を述べたりするとよい。

神の子係

- ・営火長（火の神）と一緒に、トーチ棒（たいまつ）をもってキャンプファイヤーの井げたに点火する。

友情の火 [ ] 正義の火 [ ]  
助け合いの火 [ ] 努力の火 [ ] 4名

ゲーム係

- ・スタンツの合間に、ゲームをして盛り上げる。
  - ＝導入ゲーム [ ] [ ]  
これから楽しいキャンプファイヤーが始まることを感じられるような、簡単で、軽い動きのゲーム。
  - ＝盛り上げゲーム [ ] [ ]  
楽しいスタンツをたくさん見て、楽しい気分が高まってきた所を、さらに盛り上げるゲーム。激しい動きのゲーム。
  - ＝落としのゲーム [ ] [ ]  
楽しいキャンプファイヤーのスタンツが終わって、気分をしずめるゲーム。

## ・キャンプファイヤー（キャンドルセレモニー）の流れ

この流れは、あくまで基本です。みなさんの工夫で、変更できます。

セレモニアル・ファイヤー

a)入場

b)歌『遠き山に日は落ちて（星影さやかに）』

c)（歌の間に）火の神・神の子入場

d)（歌が終わると同時に）火の神・神の子の言葉～点火

火の神「私は火の神、今宵、この中台小5年生のキャンプファイヤーに、火をともします」

神の子1「私たちは、いつまでも友情を忘れずに、友達を大切にすることをこの火に誓います。」

神の子2「私たちは、困った時にはお互いに助け合うことをこの火に誓います。」

神の子3「私たちは、正しいことは正しいとはっきり言えることをこの火に誓います。」

神の子4「私たちは、自分で決めたことは最後までやり通し、がんばりぬくことをこの火に誓います。」

神 全員「カモン・ザ・ファイヤー！」

メンバー-全員「カモン・ザ・ファイヤー！」 点火（ここは呪文でつく）

ボン・ファイヤー

エールマスター「はい、火がつきました。この火を、もっと大きくするために、『燃えろよ燃えろ』を歌いましょう。」

a)歌『燃えろよ燃えろ』

h)盛り上げゲーム

b)導入ゲーム

i)スタンツ 班

c)スタンツ 班

j)スタンツ 班

d)スタンツ 班

k)スタンツ 班

e)スタンツ 班

l)スタンツ 班

f)スタンツ 班

m)スタンツ 班

g)スタンツ 班

n)落としのゲーム

セレモニアル・ファイヤー

a)歌『忘れないでよ』

b)（歌の中で）営火長の話

c)（歌の中で）火の神・神の子が火を連れて帰る。 火の道に点火

d)火の道の中を退場

## ・キャンドルファイヤーの場合

点火は神一団が行う。他は同じ。

同じ

ここが大きく変わる。

a)火の神・神の子が入場 分火

火の神、神の子を中心にみんなの持っているキャンドルに分火していく。

分火は、友達同士でも行う。

b)歌『忘れないでよ』

c)（歌の中で）営火長の話

d)（歌の中で）誕生日ごとに火を消していく。

e)退場

## ・キャンプファイヤー係の仕事

「 」に書かれている役割分担。およびその練習。

